

第1章 情報社会と私たち
1節 情報社会

情報モラル



実教出版 情Ⅰ 705
最新情報Ⅰ p8-p9

今回のゴール

「情報モラル」「ネット依存」を



マスターして、SNSやスマホと



賢く付き合う！



- **情報モラル**：情報社会で適正な活動を行うための考え方や態度。相手を思いやり、SNSでの言葉遣いや**マナー**に配慮することが大切。
- **匿名性**：技術的に発信元の特定は可能であり、誹謗中傷などの悪質な投稿は法的処罰の対象となる。
- **炎上**：不用意な発言や画像の公開が原因で、大勢から非難や中傷が殺到する状態。



ネットに「完全な匿名」はない。相手の権利を守り自分も守る。

- **知的財産権**：知的な創作を行ったときに、その創作者に与えられる権利。
- **プライバシーの権利**：私生活の情報を公開されたり、他人から干渉や侵害を受けたりしない個人の私生活上の自由。
- **肖像権**：自身の姿をみだりに利用・公表されない権利。
- **なりすまし**：悪意ある人が油断させてから、**個人情報**やID・パスワードを奪うこと。

権利を守る（無断禁止）

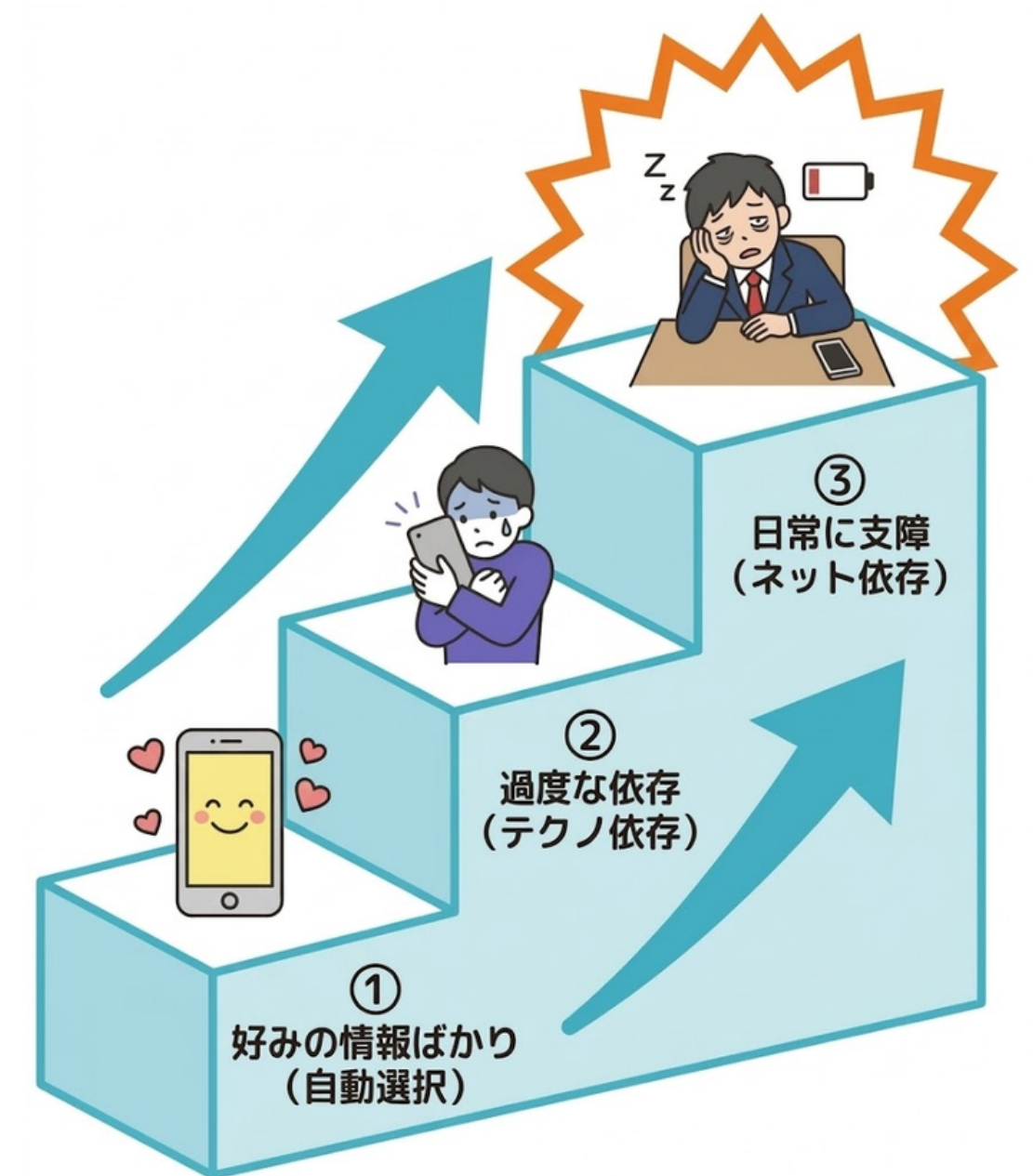


情報を守る（渡さない）



権利を守ることで「加害者」にも「被害者」にもならない。

- **フィルターバブル**：自分の好みに合った情報ばかりが自動提供される現象。
- **テクノ不安症**：コンピュータなどの情報機器に適応できず、精神的な影響を引き起こす。
- **テクノ依存症**：過度に情報機器に依存し、精神的な影響が出ている状態。
- **インターネット依存**：長時間利用により成績低下や居眠りなど、日常生活に支障をきたしている状態。



便利さの裏には、視野が狭くなるリスクや心身への悪影響もある。

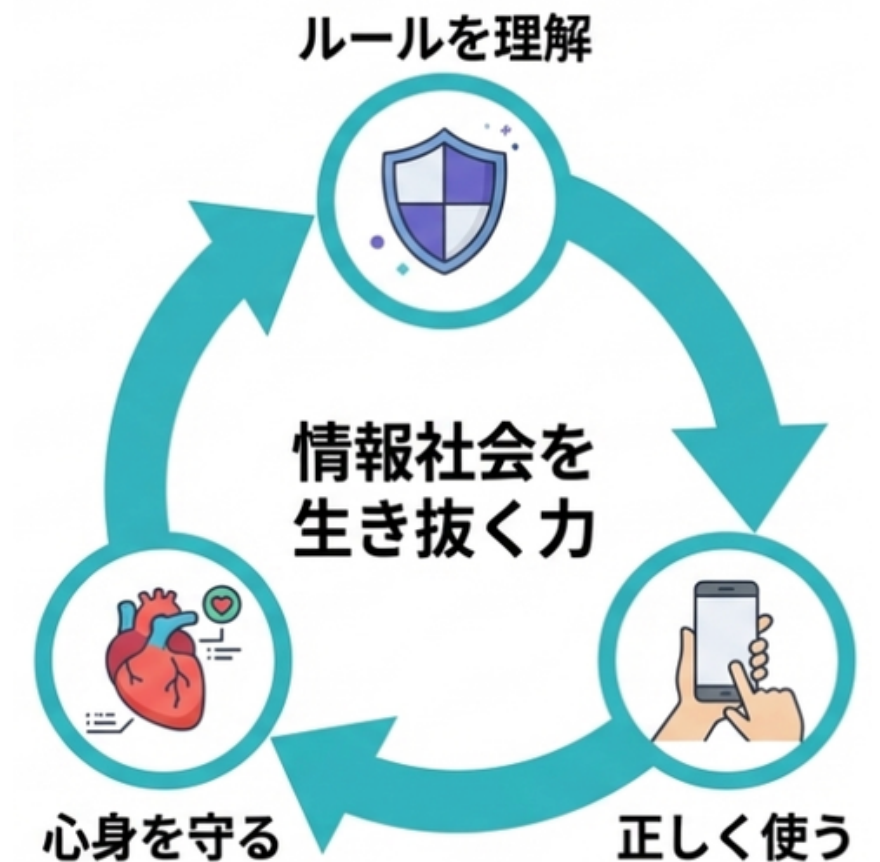
- **歩きスマホ**：道路や駅のホームでの操作は非常に危険な行為であり、厳禁である。
- スマホのマナー：電車内や図書館などではマナーモードに設定するか、電源を切る配慮が必要。
- ネット犯罪：**ワンクリック詐欺**や**架空請求**、ネットいじめなどの危険がある。不審なリンクは絶対に押さない。



リアルもネットもルールは同じ。周囲への配慮を忘れない。

今回のまとめ

- ネットに**完全な匿名はない**ことを理解
- **知的財産権・肖像権・プライバシーの権利**を守って発信する
- 個人情報の要求や「**なりすまし**」には絶対に乗らない
- 好みの情報ばかり集まる「**フィルターバブル**」に注意
- 機器への不適応が「**テクノ不安症**」
- 過剰な依存が「**テクノ依存症**」
- 日常生活に支障が出るレベルが「**インターネット依存**」



君ならできます！

頑張って！